

とんぼ通信 170号

1月号

とんぼ小児科医院

臼杵市港町東1-4組 TEL63-5811

HP 以外 <http://www.tobobaby.com>

発行責任者：東保 裕の介

発行年月：平成31年1月



新年明けましておめでとうございます



30年間続いた平成の時代が終わろうとしています。平成はベルリンの壁の崩壊に始まり、その後の米国同時多発テロ、地下鉄サリン事件などのおぞましい人災から東日本大震災、熊本地震、集中豪雨の被害などの自然災害が多発しました。世の中も自然も慌ただしいですが、来る新しい時代は子どもたちが健やかに育ち、夢が持てる社会になるよう手助けしたいと思います。

1. 診察券・予約・受付がスマートになりました！

- 昨年11月から診察券が新しくなり、裏に個人の名前とバーコードを印字しています。表には、スマホ予約のためのQRコードもあります。



- 診察予約も予約時間をいれて、「問診」にチェックをさせていただくと来院時に問診表の記入が不要です。ワクチン予約も可能になりました。
- 受付は診察券のバーコードまたはスマホのWeb診察券（QRコード）を、当院の読み取り機にかざすだけで受付は完了です。（事前に問診入力済みの時）



- 電話予約は、今までどおり受け付けます。

2. 病児保育室「とんぼ」から

お陰様で病児保育室「とんぼ」は8年目になりました。今は年間1500名~1600名の利用があり、働いているご家族のお役に立っています。インフルエンザ、RSウイルス感染症など流行する病気も強制排気型空気清浄器を2台入れてきちんと隔離していますので自信をもって保育ができます。今年もよろしくお祈りします。

3. 「ペシャワール会」を支援しましょう！

ペシャワール会は、中村哲医師が1984年にパキスタンのペシャワールの医療支援活動のために作られたNGO(民間協力団体)です。はじめはハンセン氏病の治療を行っていましたが、1991年からはアフガニスタンの山岳無医村に診療所を作り活動をしていました。その後、アフガニスタンが大干ばつに見舞われた後、「命の水」の水源確保や「緑の大地計画」により、大規模灌漑水路建設しカラカラの砂漠を緑の大地、耕作地に変える農村の復興事業に取り組んでいます。60万人の避難民の帰還を可能にしました。

- ペシャワール会の事業は、日本からの寄付のみでまかなわれています。個人は年間3000円の寄付となっています。皆様のご協力をお願いします。
- 年4回の会報があり、当院の外来に置いています。ご自由にお取りください。
- 中村哲医師と院長は大学医学部の同級生です。ご支援のほどよろしくお願いします。

郵便の取扱票

番号：01790-7-6559

加入者名：ペシャワール会

年会費：3000円

